令和２年度　愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23204	栄養教育実習 Nutrition education practice	熊崎 稔子		専門	1	必修	1年後期

科目の概要

食生活の改善を通して健康の保持増進および生活習慣病予防等に向けた提案ができ、人々の生活の質（ＱＯＬ）の向上に貢献できるようにするため、この科目では栄養教育で学んだ知識や技術を実践できることを目的とする。グループワークが中心の授業で、栄養教育の対象者を具体的に想定して、それに見合った教育の展開法、教材の作成、実際の栄養教室開催まで行う。このような実習を通して、栄養教育プログラムの展開の仕方を修得する。この科目は栄養士学外実習に向けた課題研究とも関連する。

学修内容	到達目標
① 対象者に対応した栄養教育が実践できる知識・技術理解する。 ② 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画作成の方法を理解する。 ③ 対象者に適した教材を選択し、作成方法を身につける。 ④ 対象者に分かりやすい教育の実践方法を理解する。	① 対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法を理解し、効果的な栄養教育を実施できる。 ② 栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を作成することができる。 ③ 対象者に適した教材を選択し、作成することができる。 ④ 対象者に分かりやすい教育の実践を行うことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	栄養教育に関する知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。 栄養教育技術の修得のために自ら練習をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	対象者に適した栄養教育の手順や方法を考え、目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見出すことができる。
	計画力	決められた時間内に、効果的な栄養教育を実施することができる。
	創造力	物事を考える時に固定概念に捉われることなく、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	栄養教育計画に従って、対象者に寄り添った教育内容となるよう、わかりやすい教育の仕方（声の大きさ、スピード、話すポイントの整理等）を実施することができる。
	傾聴力	対象者の意見を聞き、さらに対象者から話を引き出すことができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、円滑に授業が進行するようルールを守ることができること。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「Nブックス　改訂版　栄養指導論」相川りゑ子著、建帛社（栄養教育で使用したもの）
参考文献授業の中で適宜資料を配布（文献・新聞記事等）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連 栄養学、食品学、栄養教育
関連する資格　栄養士

学修上の助言	受講生とのルール
国民栄養の現状や食生活の問題点及び食環境について興味をもつこと。 健康関連の情報を新聞や専門雑誌などから収集し、スクラップする習慣をつけるとよい。 授業で身につける知識をもとに、自分自身の食生活がバランスのとれた状況で維持・継続されるように最大限の努力をし、知識だけでなく、実践力を身につけるように日々努力することを心がけること。	授業内容を理解するための努力をし、分からないことは質問すること。 配布資料が多いため、この科目専用のファイル（Ａ４）を用意すること。 社会人基礎力の規律性を守ること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	平常評価	小テスト	40	①	✔	小テストを4回実施し、点数を平均して判定する。 ・栄養教育教材の理解を確認する。 ・栄養教育媒体の理解を確認する。 ・栄養指導形態の理解を確認する。 ・栄養教育の流れを説明できるかを確認する。 ・穴埋め問題と簡単な説明を求める内容で出題する。 実施にあたっては、講義時に伝達する。
				②	✔	
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	10	①	✔	栄養教育教室を開催し、計画、実施、評価、改善点についてレポート作成する。 健康経営の意義についてレポート作成する。
				②	✔	
				③	✔	
				④	✔	
				⑤		
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	40	①		栄養教育の内容、媒体の適切さ、プレゼンテーションを総合して評価する。 評価は以下5項目を重視する。 1.栄養アセスメントから、適切に課題を捉えていること。 2.対象者適した栄養教育計画であること。 3.効果的な展開で進行ができていること。 4.対象者の反応、理解度をくみ取り、わかりやしく教育実施できていること。 5.対象者にあった栄養教育の媒体が作成され、効果的に使用できていること。
				②		
				③	✔	
				④	✔	
				⑤		
学修行動		社会人基礎力(学修態度)	10	①	✔	（主体性）栄養教育に関する知識について、教科書・文献を使って自己学修をする。栄養教育技術の修得のために自ら練習をする。 （実行力）対象者に適した栄養教育の手順や方法を考え、目標に向かって進める。 （課題発見力）思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見出す。 （計画力）決められた時間内に、効果的な栄養教育を実施する。 （創造力）物事を考える時に固定概念に捉われることなく、いろいろな方向から考える。 （発信力）栄養教育計画に従って、対象者に寄り添った教育内容となるよう、わかりやすい教育の仕方（声の大きさ、スピード、話すポイントの整理等）を実施する。 （傾聴力）対象者の意見を聞き、さらに対象者から話を引き出す。 話を聞くとき、プレゼンテーションの時、うなづきやあいづちをしながら聞く。 （規律性）無断欠席をせず、円滑に授業が進行するようルールを守ることができる。
				②	✔	
				③	✔	
				④	✔	
				⑤		
総合評価　割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルS（秀） 総合評価点　90点以上 ・対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法をしっかりと理解し、効果的な栄養教育を計画どおり実施できる。 ・栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を効果的に作成することができる。 ・対象者適した教材選択、作成を効果的に行うことができる。 ・対象者に分かりやすい教育の実践を効果的に行うことができる 到達レベルA(優) 総合評価点　80点以上 ・対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法をほぼ理解し、効果的な栄養教育を計画どおりおおむね実施できる。 ・栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画をおおむね効果的に作成することができる。 ・対象者適した教材選択、作成をおおむね効果的に行うことができる ・対象者に分かりやすい教育の実践をおおむね効果的に行うことができる。	到達レベルB（良） 総合評価点　70点以上 ・対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法を理解し、栄養教育を計画どおり実施できる。 ・栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を効果的に作成することができる。 ・対象者適した教材選択、作成を効果的に行うことができる。 ・対象者に分かりやすい教育の実践を行うことができる。 到達レベルC(可) 総合評価点　60点以上 ・対象者（集団）の特性を考慮した適切な支援となるよう栄養教育の実践法を理解し、栄養教育を実施できる。 ・栄養マネジメントに基づいた栄養教育計画を作成することができる。 ・対象者適した教材選択、作成を行うことができる。 ・対象者に分かりやすい教育の実践を行うことができる。

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	◆オリエンテーション ・栄養教育の目標の種類と関係性 ・栄養教育の目標設定の手順と注意点	講義 演習 質問を受け、 フィードバックする	栄養教育の目標の種類について理解し、説明できる。	〈復習〉健康の維持・増進のための食生活についてまとめる。 〈予習〉栄養教育プログラムについて教科書で予習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	◆栄養教育プログラム ・栄養教育プログラムの作成の仕方	講義 演習 質問を受け、 フィードバックする	栄養教育プログラムを作成することができる。	〈復習〉自分で考えた栄養教育プログラムを見直す。 〈予習〉栄養教育の教材について教科書で予習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	◆栄養教育の教材・媒体 ・栄養教育の教材の種類と選択の仕方 ・栄養教育の媒体について	講義 演習 質問を受け、 フィードバックする	栄養教育の教材と媒体の違いが分かり、それぞれの種類と内容が理解し、説明できる。	〈復習〉栄養教育の教材や媒体の特徴をまとめる。 〈予習〉幼児の特性を理解し、食生活での改善点を調べ、まとめておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	◆栄養教育実践（1） ・食育について ・幼児の特性（発育・発達、身体的生理的特性等）について	講義 演習 質問を受け、 フィードバックする	食育について説明できる。 幼児の特性について理解し、説明できる。	〈復習〉授業での内容について、ノートにまとめ、理解しておく。 〈予習〉幼児の栄養教育についてまとめておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	◆栄養教育実践（2） ・幼児の栄養教育の展開案を作成 ・食生活の課題の検討、テーマの検討・決定 ・栄養教育の展開について検討 ・グループごとに発表	講義 グループワーク 質問を受け、 フィードバックする	幼児の食生活の課題を把握できる。 テーマに沿った展開を立案できる。	〈復習〉栄養教育の展開について見直す。 〈予習〉幼児の食育に適した媒体について考える。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	◆栄養教育実践（3） ・幼児の栄養教育展開を決める ・教室の展開の決定 ・媒体の検討 ・シナリオの検討・作成	講義 グループワーク 質問を受け、 フィードバックする	効果的な媒体を選択・作成できる。	〈復習〉媒体の考案と作成。シナリオの見直し。 〈予習〉効率よく媒体を作成するための計画をたてる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	◆栄養教育実践（4） ・栄養教育教室の準備 ・媒体の制作	講義 媒体の作成 質問を受け、 フィードバックする	効果的な媒体を選択・作成できる。	〈復習〉媒体の作成。シナリオの検討。 〈予習〉媒体の作成	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	◆栄養教育実践（5） ・栄養教育教室の準備 ・媒体の制作	講義 媒体の作成 質問を受け、 フィードバックする	効果的な媒体を作成できる。	〈復習〉媒体の作成。シナリオの検討。 〈予習〉媒体の作成	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	◆栄養教育実践（6） ・栄養教育教室の準備 ・媒体の制作 ・栄養教室シナリオ作成 ・食育の練習	講義 媒体の作成 質問を受け、 フィードバックする	効果的な媒体を作成できる。	〈復習〉媒体の作成。シナリオの検討。 〈予習〉 シナリオの確認。栄養教育教室実施の練習。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10 週 /	◆栄養教育実践（7） ・栄養教室実施の中間発表（各班の栄養教室の発表、クラス評価、改善案の提示）	講義 栄養教育教室の発表 評価内容をフィードバックする	栄養教育教室が実施でき、内容について評価できる。	〈復習〉展開案、シナリオ、媒体の修正。 〈予習〉栄養教育教室実施の練習。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	◆栄養教育実践（8） ・栄養教育教室の準備 ・展開案、シナリオ、媒体の修正 ・食育の練習	講義 栄養教育教室の練習 質問を受け、 フィードバックする	よりよい栄養教育教室となるように、グループ内で建設的な発言ができる。	〈復習〉展開案、シナリオ、媒体の修正。 〈予習〉栄養教育教室実施の練習。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12 週 /	◆栄養教育実践（9） ・栄養教育教室の開催 ・グループ単位で作成した栄養教室の内容を組み合わせて、一般の幼児を対象とした「食育教室」を開催する	食育教室の開催（発表）	栄養教育教室の内容を理解している。 食育の内容を上手く対象者に伝えることができる。	〈復習〉栄養教育教室の開催後のレポート作成。 〈予習〉展開案、シナリオ、媒体の評価をまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13 週 /	◆栄養教育実践（10） ・栄養教育教室の評価を行う ・展開案、シナリオ、媒体の評価 ・改善案のまとめ	講義 食育教室を評価し、フィードバックする	栄養教育教室を客観的に評価し、改善案を提案することができる。	〈復習〉栄養教育教室の改善案についてまとめる。 〈予習〉健康経営についてインターネット等で調べ、まとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14 週 /	◆企業における健康経営（1） ・企業における従業員の健康管理の意義 ・従業員への健康管理の提案についてグループで考える	講義 グループワーク 質問を受け、 フィードバックする	健康経営について理解でし、説明できる。	〈復習〉グループで考えた健康管理の提案の見直し。 〈予習〉プレゼンテーションの練習。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15 週 /	◆企業における健康経営（2） ・従業員への健康管理の提案についてプレゼンテーションをする ◆栄養教育のまとめ	講義 プレゼンテーション 質問を受け、 フィードバックする	効果的な健康管理の提案をプレゼンテーションできる。	〈復習〉栄養教育の意義についてまとめる。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力